

1. 魚介類調査結果の概要

1. 魚介類調査結果の概要

(1) 分布状況から見た河川環境の特徴 (資料 II.1.1/2)

今回とりまとめを行った 59 水系 60 河川で確認された魚類は 17 目 62 科 236 種、エビ・カニ・貝類は 19 目 61 科 136 種でした。

魚類の確認種数が多かった一級河川は、中国地方の斐伊川の 98 種、次いで中部地方の木曾川(長良川)の 78 種、四国地方の仁淀川の 71 種等でした。二級河川で魚類の確認種数が多かった河川は、東北地方の馬場目川の 54 種、次いで中国地方の沼田川の 50 種等でした。

エビ・カニ・貝類の確認種数が多かった一級河川は、中国地方の斐伊川の 56 種、中部地方の木曾川(長良川)の 44 種、四国地方の仁淀川の 38 種でした。二級河川では九州地方の万之瀬川の 27 種、中部地方の梅田川の 19 種、東北地方の馬場目川の 19 種等でした。

(2) 特定種 (資料 II.1.3/4)

今回とりまとめを行った 60 河川で確認された特定種は、魚類ではレッドリスト絶滅危惧 IB 類に指定されているイチモンジタナゴやインドジョウ等 37 種、エビ・カニ・貝類では、レッドリスト絶滅危惧種 II 類に指定されているカワシンジュガイ等 14 種でした。

魚類の特定種の確認種数が最も多かった河川は、九州地方の筑後川の 9 種で、次いで九州地方の矢部川の 8 種でした。

エビ・カニ・貝類の特定種の確認種数が多かった河川は、北海道地方の網走川と東北地方の雄物川で 3 種、中部地方の木曾川水系では揖斐川で 5 種、長良川で 3 種、中国地方の沼田川の 3 種、九州地方の筑後川で 4 種などでした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・ 環境省(庁)編「レッドリスト」掲載種(1999・2000)

(3) 外来種 (資料 II.1.5/6)

今回とりまとめを行った 60 河川で確認された外来種は、魚類ではオオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル、グッピー等の 13 種で、エビ・カニ・貝類では、サカマキガイ、カワヒバリガイ、アメリカザリガニなどの 8 種でした。

魚類では、近畿地方の大和川で 8 種類と、最も多くの外来種が確認されましたが、15 河川では全く外来種が確認されませんでした。地方別では、北海道地方で確認された外来種の数 2 種と最も少なく、近畿地方が 9 種と最も多くの外来種が確認されました。

エビ・カニ・貝類では、北海道地方では全く外来種が確認されませんでした。中部地方と中国地方では 5 種の外来種が確認され、河川別では中部地方の揖斐川と長良川、音羽川で 4 種が確認されています。逆に北海道地方を含め 17 河川では外来種が確認されませんでした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I. 5(44～45 ページ)に掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。

(4) サケの全国的な確認状況 (資料 II.1.7 (1))

確認状況の概要は 6 ページに、また確認位置図は 60 ページに掲載されています。

(5) 汽水域に生息するシラウオ類、シロウオ、トビハゼ、ワラスボ類の確認された地域 (資料 II.1.7 (2-5))

確認状況の概要は 6～7 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 61～64 ページに掲載されています。

(6) ブルーギルとオオクチバス (ブラックバス) の確認された地域 (資料 II.1.7 (6/7))

確認状況の概要は 15～16 ページに、また、これら選定した外来種の確認位置図は 65～66 ページに掲載されています。

(7) ヤマメとアマゴ・アブラハヤとタカハヤの確認分布状況 (資料 II.1.7 (8-11))

確認状況の概要は 16 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 67～70 ページに掲載されています。

(8) メダカとカダヤシの確認された地域 (資料 II.1.7 (12/13))

確認状況の概要は 17 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 71～72 ページに掲載されています。

(9) 琵琶湖・淀川水系の魚類、北海道地方在来の魚類の確認された地域 (資料 II.1.7 (14/15))

確認状況の概要は 18 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 73～74 ページに掲載されています。

(10) サケ、シラウオ類、シロウオ、トビハゼ、ワラスボ類、ブルーギル、オオクチバス (ブラックバス)、ヤマメ、アマゴ、アブラハヤ、タカハヤ、メダカ、カダヤシ、琵琶湖・淀川水系の魚類、北海道地方在来の魚類についての確認状況の経年比較 (資料 II.1.8)

確認状況の概要は 6～7、15～18 ページに、これら選定項目の河川ごとの経年確認状況についての比較表は 75～76 ページに掲載されています。